

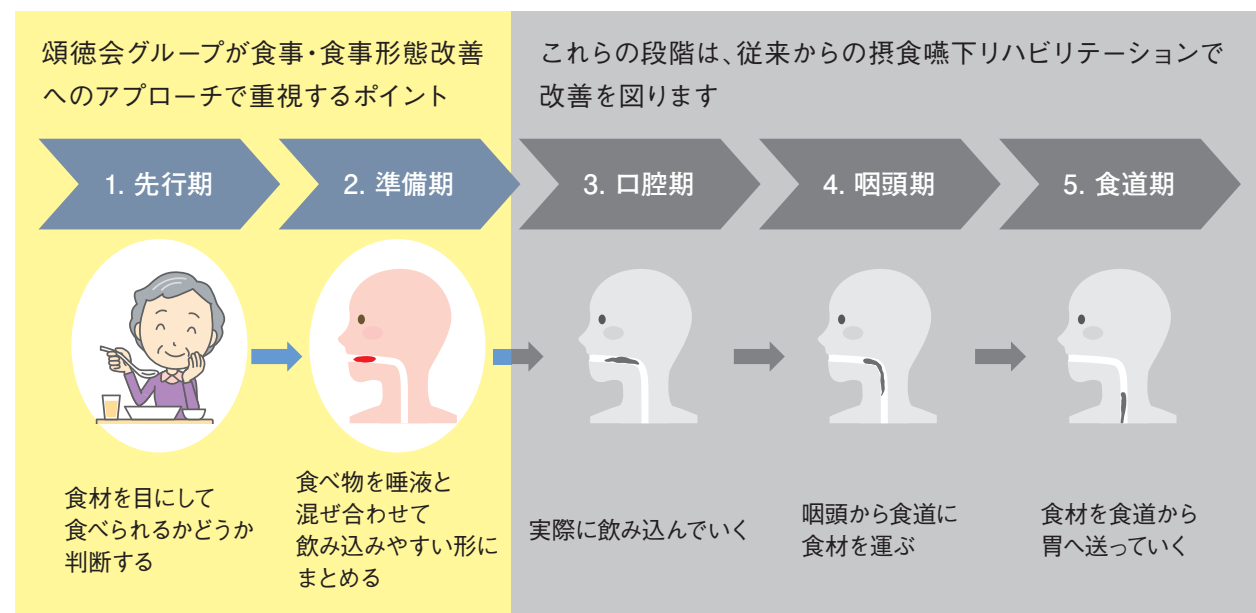
日野病院・ソルヴィラージュの食事改善への取り組み

頌徳会グループでは、従来から掲げている「美味しい食事を楽しく召し上がっていただく」という方針のもと、食事提供内容の改善や、患者さん・ご利用者の食事形態のレベルアップに向けた取り組みを行ってきましたので、ご紹介します。

■頌徳会グループが食事でこだわっているポイント

頌徳会グループが考える『美味しい食事』『安全な食事』とは、食べ物を目にした時に、それを食べ物と判断できて食欲がかき立てられて食べたいと感じることが、『食事の第一歩』と考えています。

- ‘味’ ‘香り’ ‘見た目’ ができる限り普通の食事と変わらないものを提供する。
- 咀嚼・嚥下が困難な方にも安心して食べられる柔らかい食事を提供する。



『1.先行期』で、視覚・嗅覚から「美味しそう」「食べたい」と感じ、食べるための心の準備が進み、
『2.準備期』で、「自然とあふれる唾液」と混ぜ合わせて粘りを持たせ、飲み込みやすい形状にまとめ上げる

この飲み込むまでの準備段階にこだわりを持って、「食べたい!」と感じてもらい、実際に「美味しい食事を楽しく召し上がっていただく」ことが頌徳会グループの方針です。

【介護食の改善ポイント:介護食『あいと』の導入】

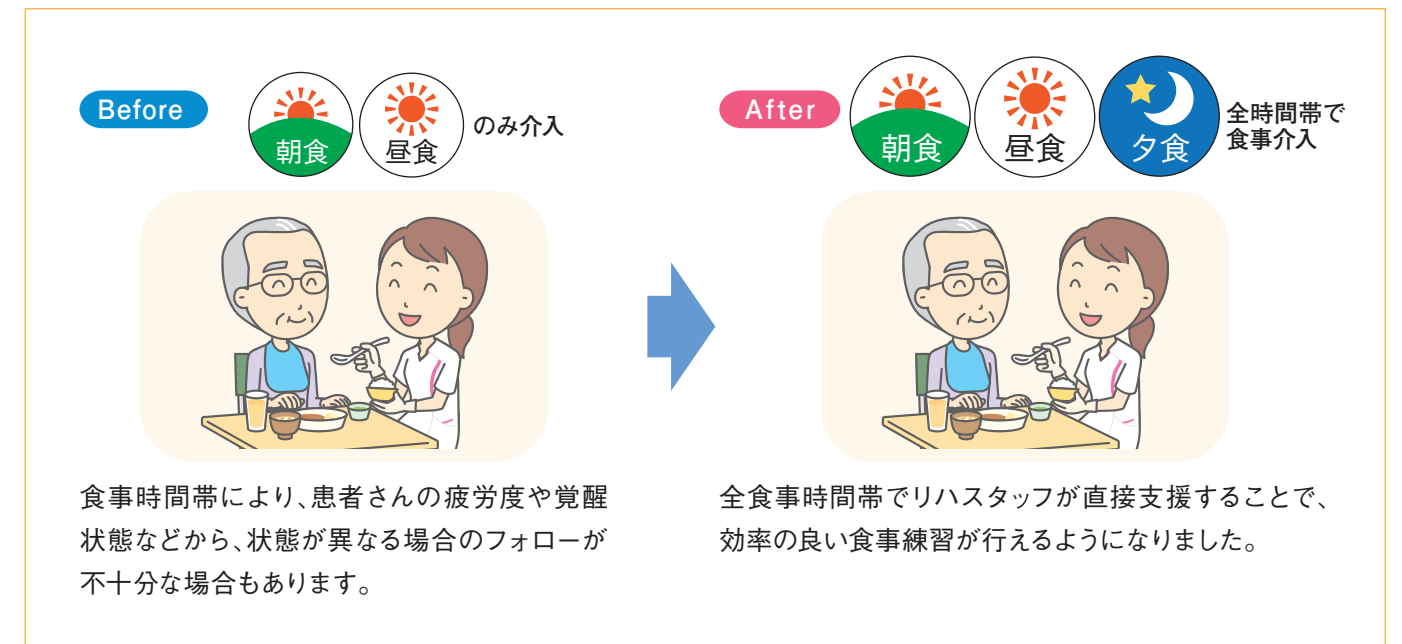


◎ミキサー食・キザミ食等と比較すると、見た目が良くなり、柔らかく成形されていますが、使われている食材を感じられないデメリットが…。

◎見た目で食材が判別できるので、患者さんが『好きな物から食べよう!』『このメニューを食べたい』と、食事に対する意識が向上しました。

■リハスタッフによる全時間帯での食事介入の実施

食事をしっかり摂れるようになることは、日常生活の基盤となる非常に重要な要素と考え、リハスタッフによる全時間帯での食事介入を実施しています。



【リハスタッフによる食事介入のメリット】

- ◎個々の患者さんに合わせたより細やかなフォローが実現します。
- ◎食事姿勢の改善がより短期間で実現します。
- ◎より安全に食事を召し上がっていただけます。

■食事形態レベルアップに合わせたトロミ形態の見直しについて

【そもそも‘トロミ茶’とは?】

高齢者は飲み込む際の筋力や感覚が鈍くなっている方が多く、誤嚥のリスクは高齢になればなるほど高まります。特にお茶などの水分はむせやすいため、トロミをつけることは、喉を水分が通過するスピードを緩めて、むせにくくする有効な方法の一つです。

【‘トロミ茶’のデメリット】

トロミ剤や粘つきなどで、本来の味が変わる（人によっては不味く感じます）ことで、水分摂取量が減の原因になります。また退院後もトロミを適切につけることは、ご家族の介護負担増にも繋がります。

【トロミ形態の見直しへの取り組み】

患者さんの適切な水分摂取、ご家族の介護負担軽減を目的に、食事形態レベルアップに合わせたトロミ形態の見直しを実施しています。

食事内容の改善による『喫食率の向上』『食事への興味の高まり』と、『全時間帯での食事介入』の取り組みにより、『栄養状態の改善』や『食事形態のレベルアップの促進』が図られています。

敬老会での令和5年度新卒内定者 就業体験を実施

令和4年9月28日デイケアでは敬老会を開催しました。今年度は敬老会の開催に合わせて令和5年度新卒内定者の学生さんが就業体験で参加しました。



来春入職する管理栄養士、セラピスト、事務総合職7名が参加した敬老会では、ご利用者参加型のゲーム大会・カラオケ大会を開催。終始、ご利用者や学生さんの笑顔が溢れるアッ！という間の1日でした。

学生さん達は最初は緊張した面持ちでしたが、ご利用者と触れ合う中でみると変化が見られ、ご利用者と目線を合わせて会話することが、一番大切な信頼関係の構築に繋がることを、実感する良い機会になっていました。



▲ 職員の説明には真剣な眼差し。



▲ 先輩となる管理栄養士と手作りおやつを準備。

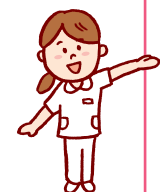


▲ カラオケ大会ではご利用者と一緒に盛り上がりました。

【就業体験された学生さんの声】

「職員の皆さんの良いイベントにしようという思いと、お食事で笑顔になるご利用者を見て、食の力を感しました。」

「ご利用者との関係を築くためには、同じ空間で一緒に過ごしたり、お話ししたり、触れ合ったりすることが大事だと感じました。今後はご利用者をみんな同じ高齢者としてではなく、一人ひとりの特性と向き合えるコミュニケーションを心がけたいと思いました。」



ソルメゾンではインドネシア技能実習生が 活躍しています

ソルメゾンでは令和4年6月16日より、インドネシアから3名の外国人技能実習生を受け入れています。配属から6ヶ月、その活躍ぶりをご紹介します。

技能実習生へのQ&A

- Q** ソルメゾンで働いてみた印象は？
A 職員さんは優しく教えてくれるし、仕事も楽しいです。ご利用者に「ありがとう」と言ってもらえることがうれしいです。(トリ)
 施設はきれいですし、働きやすいです。(シンディ)
- Q** ご利用者との関りで意識していることは？
A コミュニケーションをとりながら、何を望んでいるかを理解することです。(リナ)
- Q** これからの目標は何ですか？
A 介護技能実習評価試験に合格することです。(トリ、シンディ、リナ 3名より)

ご利用者の声

「若いのに遠くから勉強しにきてすごいね。」
 「姿がみえないと今日は来いていないのかなと思い、寂しくなる。」



▲ 写真左から シンディ アンティカさん、リナ ウラー ビランタ エカ ディアン サプトリさん、トリ ノヴィヤンティさん



◀ 電子カルテへの日本語入力を練習中

一緒に働くメンバーから、一言

- 個々に合わせたコミュニケーションの手段(筆談・絵を書く、ゆっくり話すなど)を教えた後、すぐに実践する姿をみて積極性を感じています。
- 家でも日本語の勉強をしていると聞いて、勉強熱心で努力家だと思います。ご利用者の名前を覚えるのも早かったです。

■肺炎球菌ワクチンについて

■肺炎球菌について

肺炎球菌は、主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液を通して飛沫感染し気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。肺炎の25～40%は肺炎球菌が原因と考えられています。肺炎で亡くなる方の多くは65歳以上の高齢者であることから、肺炎球菌による肺炎の予防が重要となります。

■肺炎予防には…



◎毎日の感染予防
 ・うがい・手洗い
 ・マスクの着用
 ・適切な口腔ケア



◎予防接種を受ける
 ・肺炎球菌ワクチン
 ・インフルエンザワクチン
 ・新型コロナワクチン



◎免疫力を高める
 ・規則正しい生活
 ・持病の治療
 ・禁煙

■肺炎球菌ワクチンについて

免疫効果…5年以上持続

副反応…接種部位の腫れ、痛み、まれに軽い発熱

■接種対象者と接種費用について(堺市に住民登録のある方)

①定期接種

- 各年度中(4月1日から翌3月31日)の間に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方。
- 60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器機能またはヒト免疫不全ウィルスによる免疫機能に1級程度の障害のある方。

②任意接種

- 満65歳以上の定期接種に該当しない方。



自己負担金:4,000円(1人1回のみ)

※①②以外の方や、平成26年10月1日以降に制度を利用し、接種を受けた方は、自己負担金7,700円となります。
 ※市民税非課税世帯、生活保護世帯、中国残留邦人等支援世帯に属する方は無料です。

◎詳しくは日野クリニックまでご相談ください。 TEL 072-276-5111

回想法を利用したお食事レクリエーション が好評です

ソルテイルでは、認知症の方へのアプローチとして注目されている回想法を利用したお食事レクを実施しています。

【そもそも回想法とは？】

昔の懐かしい写真や音楽、使っていた馴染み深い私物に触れたりしながら、経験や思い出を語り合う一種の心理療法です。アメリカの心理学者が提唱した認知症の方へのアプローチと注目されています。

【8月10日は、サンドイッチを調理しました】

◎お食事にまつわるご利用者のエピソード

若かりし頃に、奥様とサンドイッチを作り、よく大阪城公園や万博公園まで一緒に遠出されたそうで、その時の思い出が心に残っているとの事です。思い出の一品として、ご利用者の皆さんと一緒にサンドイッチを調理することになりました。



調理中のご様子

調理中には、「懐かしいなぁ」と、今は亡き奥様との思い出が蘇っている様子でした。



ご利用者からは

「今日はありがとう。美味しかった。懐かしかったわ。」

知って安心。医療・介護インフォメーション

シリーズ 第5弾 「かかり方！変えよう！」PART1 気軽に相談できる『かかりつけ医』を持ちましょう

「かかりつけ医」とは、普段の健康管理や健康相談や検診など、気軽に相談できる医師のことです。国の方針として、病院は、医療の集中や混乱を防ぐため、役割・機能の分担をしています。



- 選定療養費として、診察に別料金がかかります。(←こちらについては、次号で詳しく説明します。)
- 混雑を引き起こし、高度な医療を必要とする患者さんに影響を及ぼすことになります。
- 診療科をたらい回しにされ、主治医がかわる場合があります。

かかりつけ医(医療機関)を選ぶ際の6つのポイント

- ① すぐに入院できる病床があること(入院できる医療機関との連携があればOK)。
- ② 主治医の意見書が命運を分けるので、主治医が介護保険制度に精通していること。
- ③ すぐに入所できる介護施設があること(信頼できる介護施設と連携していればOK)。
- ④ 最終的に特養を検討している場合、連携する介護老人福祉施設(特養)があること。
- ⑤ ケアプランセンターがある医療機関。かかりつけ医とすぐに連携できるケアマネが在籍しているとBEST。
- ⑥ 通院が困難になるケースを想定し、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション等の訪問サービスの提供があること。

* 日野病院(頌徳会グループ)では、上記①～⑥の全てを満たしています。
地域の「かかりつけ医」として、医療・介護共に、患者さん・ご利用者をサポートします。

「おひさまケアプランセンター」では、ご自宅等で生活を送る要介護・要支援状態にある方が、適切に介護サービスを利用できるよう、様々な相談を受けたり、手続き等の代行を行います。介護に関する相談や代行申請は無料です。



まずは、お電話を！ おひさまケアプランセンター直通番号：072-235-7722

理事長コラム わしが真ん中？

理事長 日野 頌三



前号では「美味しい食事」をテーマにお話しさせていただきましたが、今回は印象に残った出来事をお伝えしたいと思います。

入院患者さんの中に、食事をほとんど召し上がらない方がいらっしゃいました。難しい状態でしたが、からうじて経口摂取が可能と私は判断しましたので、何とか食べていただけないかと管理栄養士や看護師など担当者を集めて会議(カンファレンス)を重ねました。参加者からはお肉はどうか、お魚にしてはどうか、食材から調理方法に至るまで様々な意見が出されました。そうして色々な献立をお持ちしたのですが、その方の食欲は失われたままでした。

このままでは経管栄養(鼻や口からチューブを使って栄養を摂取すること)になってしまうと危惧した我々は、何度も病室に足を運び、全く食欲の無

い患者さんからようやく好きなものを聞き出すことができました。その方のお好きなメニューは握り寿司でした。

そこで当時の病院食としては異例ではありましたが、握り寿司をお出ししました。

しかし、結果はいつもと変わらず、食べる意欲には繋がらなかったのです。

細かな希望でも応えたいと、ある日カンファレンスにその方をお招きすることにしました。するとその翌日、その方が食事を召し上がったとの報告がありました。驚いて理由を尋ねると、その方は「こんなに皆さんがわしのことを考えてくれていたなんて思いもよらなかった。感謝していただきます。」とおっしゃってくださったのです。

食事において食材やメニューは大切ですが、相手を想う熱意もまた大切なのだと気づかされた出来事となりました。

頌徳会グループではこれからも「口から食べる喜び」を支えていきたいと思っています。

頌徳会グループ ホームページ総合お問合せフォームへ、ソルヴィラージュ入所ご利用者ご家族からのご意見のご紹介

母親がソルヴィラージュにお世話になり、早2年半になります。週2・3回洗濯物やオヤツを持参しています。今はなかなか面会できない状況ですが、リモート面会した際、いつも母は、スタッフの皆さんが親切で良くしてくれると喜んでます。本当にありがとうございます。特に〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんには、色々相談させて頂き大変お世話になっています。

また、私が施設に訪問した際、受付の〇〇さんは、いつも素敵な笑顔で、『こんにちわ』と出迎えて頂き、帰る際にも、同じく笑顔で『さようなら、お気をつけて、』と見送って頂きます。

訪問の際、母親のことで、時々気が重い時もありますが、いつも〇〇さんのこのホスピタリティある心地良い接客に本当に気持ちが救われます。

私も現役の時は、ホテル関連の仕事をしていました。特に、接客、ホスピタリティ、顧客満足ということに関わって参りましたので、〇〇さんの自然で優しい接客スタイルに感心させられています。

今回、問い合わせという事ではなかったですが、母がソルヴィラージュにお世話になり、私も安心して仕事に専念できるのも、施設の皆様のご尽力のおかげと感謝しています。

あらためて、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

頌徳会グループ
理念

生命の花を咲かせます 生きる力を支えます 力を活かして支えます